防災研修会　行事結果報告書

23-防災研修会-06

件名	TSC防災研修会（通報訓練、心肺蘇生法（含AED）、紙上研修（消火器操作法等）
日時	令和5年10月24日（火）　開始：10時00分　終了：11時20分
場所	地域交流施設（たかぴあ）
参加人員	総参加者：28名　（TSCスタッフ：25名、高浜市防災グループ：3名）
事故他	事故・ケガ人はありません。

1、報告事項

（1）今年度1回目の防災研修を実施した。

消防署指導のもと、実際に119番通報の方法を体験実習する。

高浜市応急手当普及ボランティアの指導のもと、救命救急講習会（AED含）を実施する。

（2）消防署への通報訓練

5分前の事前通告：10:05に消防本部に連絡し、10:10に119番にて訓練通報することを確認。

通報訓練本番：この日受付担当の前田管理スタッフが119番をダイヤルし、意識不明者発生の想定で消防署に緊急通報をするとともに、問いに応答する形で通報訓練を実施した。

（3）救命救急講習会（講和及び実習）

【講和1】

救急車が到着するまで6分～8分。脳細胞は4分後からダメージを受け始め8分後には細胞が死ぬ。

たくさんの人が技術を覚え、心臓を強く押し（へこませる）脳に血液を送ることが必要。骨が折れても内臓に刺さることはない、AEDの使用でやけどをするかもしれないが生きてさえいれば…。と話された。

【心肺蘇生法の実習】

反応（意識）確認→119番通報とAEDの手配→胸骨圧迫（心臓マッサージ）→AED操作及び人工呼吸の方法について研修した。ペアを組み、胸骨圧迫を継続しながらAEDの装着・操作を行う実習は本番さながらの緊迫感がありよい体験になった。

【講和2】

近隣の小学校や薬局で心肺蘇生法を行った実際の話を伺った。2事例ともに、「対応した人が心肺蘇生法を経験していたり、事前に死戦期呼吸（心肺停止後に見られる呼吸、あえぐように呼吸する）」の動画を視聴していたりしたことで大切な命を守ることでできた」と話された。

また、①心肺停止かどうか迷ったときは胸骨圧迫をすること。正常であれば、苦しみを訴える。さらに、②AED（自動体外式除細動器）は心臓が細動しているときに実行を指示する。細動していない時は実行の指示が出ない。というアドバイスをいただいた。実践に沿った有意義な研修を受けることができた。

川角理事長挨拶

前田管理人による通報訓練

杉浦誠講師による全体説明

杉浦裕二講師による指導

AED到着後の対応の実習

寺島事務局長終わりの挨拶

報告者	NPO法人　たかはまスポーツクラブ	野々山知久